釧路湿原
自然再生協議会

森林再生小委員会
ニュースレター No.20

編集・発行：釧路湿原自然再生協議会 運営事務局　発行日：令和3年2月16日

令和2年11月17日（火）「第20回 森林再生小委員会」が釧路地方合同庁舎５階 第１会議室で開催されました。

■ **開 催 概 要**

　小委員会には、２０名（個人６名、９団体９名、関係行政機関５機関５名）が出席しました。（コロナウイルス感染拡大状況により一般の方の傍聴は中止させていただいています。）

　今回は、「雷別地区自然再生事業の実施状況について」および「達古武地域自然再生事業の実施状況について」事務局より報告があり、それぞれに対する意見交換が行われました。

森林再生小委員会とは

森林再生小委員会は、釧路湿原自然再生協議会の７つの小委員会の一つです。毎年ほぼ１回の会議を開催し、森林の再生に関わる以下のような施策について検討をしています。

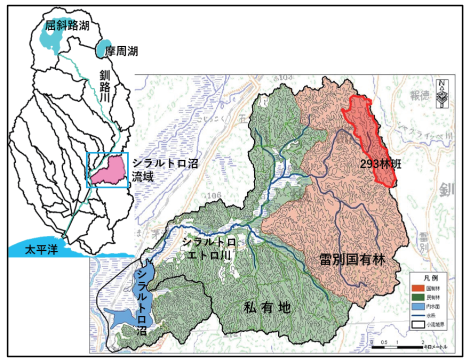
- 湿原への土砂の流入を軽減し、水環境を保全する施策
- 湿原や河川ともつながりを持つ、地域本来の豊かな森林生態系を再生する施策

森林再生の取り組み

釧路湿原とその流域

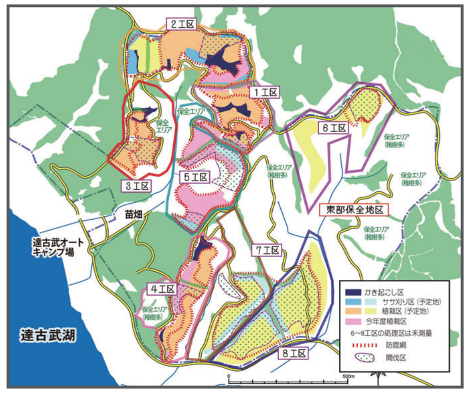
現在、雷別地区（標茶町）と達古武地区（釧路町）で、育苗、広葉樹の植樹や保育、植栽木の食害対策、モニタリング調査、環境学習を行う等、広葉樹の森林づくりに努めています。

雷別地区（標茶町）



雷別国有林はシラルトロ沼の上流域に位置しています。平成１２年に気象害で人工林のトドマツが枯れたので、被害跡地の水土保全機能を高めるため、郷土樹種であるミズナラ・ハルニレ・ヤチダモ等の広葉樹主体の森林へ再生する取り組みを行っています。

達古武地区（釧路町）



達古武地区は、釧路湿原東部に位置する達古武湖を中心に、湿原や河川、丘陵林の生態系が小さくまとまった地区です。その中の湿原に面したカラマツ人工林において、地域本来の落葉広葉樹林へ再生する取り組みを行っています。

～★★　市民参加のイベントがあります　★★～

広葉樹を植えたり、育った樹木を観察したり、生きもの調査を体験したり、みなさんに参加してもらえる機会がたくさんあります。

ボランティアによる広葉樹植樹

食害防止用ツリーシェルターの設置

森林環境の指標となる動物の調査体験会

●釧路湿原森林ふれあい推進センター
〒085-0825 釧路市千歳町6番11号　　Tel：0154-44-0533
くわしくはこちら「釧路湿原森林ふれあい推進センター」

●再生普及行動計画オフィス
〒084-0922　釧路市北斗2-2101　　Tel：0154-56-4646
環境省釧路湿原野生生物保護センター内
メール登録してください
くわしくはこちら「ワンダグリンダ・プロジェクト」

参加できるイベントなどはここから探せます！

釧路湿原自然再生協議会 森林再生小委員会　**議事録や会議資料などはこちらをご覧ください。**

環境省北海道地方環境事務所釧路自然環境事務所
林野庁北海道森林管理局釧路湿原森林ふれあい推進センター

～ 委員を募集しています ～

●毎年10月中旬～11月初旬に釧路湿原自然再生協議会の委員を募集しています。
●どなたでも参加でき、興味のある小委員会に参加していただけます。

第20回森林再生小委員会［出席者名簿（敬称略、五十音順）］

個人［6名］

加藤　ゆき恵
神田　房行
清水　信彦
高嶋　八千代
高橋　忠一
中村　太士［北海道大学大学院 農学研究院 教授］

関係行政機関［5機関/5名］

国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部［釧路河川事務所長 橋本 達也］
環境省 釧路自然環境事務所［国立公園企画官 松尾 浩司］
林野庁 北海道森林管理局［根釧西部森林管理署長 相澤 伴軌］
釧路市［市民環境部 環境保全課長補佐 元岡 直子］
標茶町［農林課長 長野 大介］

団体［9団体/9名］

王子ホールディングス株式会社　［王子木材緑化帯広営業所長 篠原 雅人］
株式会社北都［代表取締役 山﨑 正明］
釧路国際ウェットランドセンター［事務局長 菊池 義勝］
釧路湿原国立公園連絡協議会［事務局次長 元岡 直子］
釧路自然保護協会［会長 神田 房行］
釧路造園建設業協会［会長 吉田 英司］
さっぽろ自然調査館［代表 渡辺 修］
標茶西地区農地・水保全隊［隊長 佐久間 三男］
特定非営利活動法人 EnVision環境保全事務所［研究員 小林 恒平］

資料の公開方法

各委員会で使用した資料および議事要旨は、釧路湿原自然再生協議会ホームページにて公開しています。
http://www.hkd.mlit.go.jp/ks/tisui/qgmend0000003ppq.html

ご意見募集

釧路湿原自然再生協議会運営事務局では皆様のご意見を募集しています。
電話・FAXにて事務局までご連絡ください。

釧路湿原自然再生協議会
運営事務局
TEL (0154) 23-1353
FAX (0154) 24-6839

1 雷別地区自然再生事業について　林野庁釧路湿原森林ふれあい推進センターが取り組みました

◆ 令和２年度の取り組み

●ミズナラ・ハルニレ・ヤチダモ・カツラを合計で２，１００本植樹し、保護管（ツリーシェルター）*1 で覆いました。
●成長して大きくなった植栽木の保護管（ツリーシェルター）を取り除き、今後、エゾユキウサギやエゾシカ等の食害に遭うか、試行を始めました。
●平成２１年に植樹した植栽木の樹高等を調査しました。

平均樹高は約 278cm で最大樹高はイタヤカエデの 601cm でした。

雷別ドングリ倶楽部会員の植樹の様子

保護管で覆われた植栽木の様子

雷別ドングリ倶楽部のみなさんと協働で取り組んでいます。

植樹や保護管（ツリーシェルター）の被覆等、地域住民のみなさんが参加できるボランティア活動があります。
雷別ドングリ倶楽部の会員は、毎年４月に募集しています。

↑　くわしくはこちら「雷別ドングリ倶楽部」

*1 保護管（ツリーシェルター）：植栽木がエゾユキウサギやエゾシカ等に食べられないよう、樹木を覆う筒状のもの

このような意見交換が行われました

- 植樹した樹木のうち、保護管（ツリーシェルター）で覆っているのは全体の何パーセントぐらいですか？
  ▶ 現在植樹しているものは全て保護管（ツリーシェルター）で覆っていますが、取り組み始めの頃は覆っていなかったため、全体の数は把握していません。
- ６ｍまで大きくなった樹木は保護管（ツリーシェルター）で覆っていましたか？保護管（ツリーシェルター）はいつ頃外すのですか？
  ▶ ６ｍになった樹木は保護管（ツリーシェルター）で覆っていました。樹木の幹が太くなって圧迫されてきたら保護管（ツリーシェルター）は外します。

委員長　委員　事務局

「雷別地区自然再生事業実施計画」の特徴（平成１９年９月）
●広葉樹の森林へ再生するため、様々なことを試してきました。
・タネを落とす樹木が多くある箇所は、自然の力に任せる
・タネを落とす樹木が少ない箇所は、広葉樹の植栽を検討・導入する
・笹が多く自然の力が至らない箇所は笹を除去したうえで、広葉樹の植栽を検討・導入する
・植栽木がエゾユキウサギやエゾシカ等に食べられないよう、保護管（ツリーシェルター）や防鹿柵で守る

くわしくはこちら　「雷別地区自然再生事業実施計画」

2 達古武地域自然再生事業について　環境省釧路自然環境事務所が取り組みました

◆ 令和２年度の取り組み

調　査

1．植栽木成長過程の追跡調査

・苗木は順調に成長し、ダケカンバでは８年で樹高５ｍ を超えるものもありました。

2．エゾシカによる被食状況

（１）稚樹
・防鹿柵の外にある天然更新した稚樹について、エゾシカの食痕を調査しました。
・エゾシカの影響はありますが、影響より樹木の成長が上回っていました。

（２）林床植物
・防鹿柵の外にある林床植物について、エゾシカの食痕を調査しました。
・チシマアザミなど、食痕率が高く開花茎数が減少している種がありました。

3．生態系評価モニタリング

・森林の指標としている昆虫について調査しました。
・個体数は全体的に過去に比べて少ない傾向でした。再生による森林性の種類の増加傾向はまだ見られませんでした。

4．自然環境資源調査

・達古武上流部や再生事業地の隣接地において、環境学習に利活用できる動植物のデータを収集しました。
・森林や水生生物のほか、巣箱や自動撮影カメラを設置して動物を調査しました。

植林・育苗

◆苗の植栽（ミズナラ、タケカンバ、アオダモ等、約１万４千本・7.72ha）
◆育苗（種まき、苗の植えかえ、管理、種とり）

環 境 学 習

◆沢や森の生きもの調査（釧路湖陵高校）：８月
◆冬の調査体験会（一般）：２月

成長したダケカンバ

自動撮影カメラに映るエゾシカ

釧路湖陵高校の生きもの調査

冬の体験会

このような意見交換が行われました

- 今年はミズナラの種子（ドングリ）があまり採れなかったとほかの地域で聞いたが、達古武地区ではどうなのですか？
  ▶ 達古武地区は３年連続で豊作です。
- このまま豊作が続けば、せっかく苗を育てても植える場所に困ってしまう。何か良いアイデアはないでしょうか？
  ▶ 近くの地域に植えることができれば素晴らしい。

委員長　委員　事務局

「達古武地域自然再生事業実施計画」の特徴（平成１８年２月）
●樹木が育ちやすくなるように色々なことを試してきました。
・ササを取り除く
・近くで採れた種子を育てて苗木をつくり、その苗木を植える
・エゾシカに食べられないように柵をつくる（シカ柵）
・カラマツを切って、広葉樹を植える

くわしくはこちら　「達古武地域自然再生事業実施計画」